

数のかけ算(第9時) 整数×分数 帯分数×分数

月/日 P
 ① 計算の仕方を考えよう。

① $3 \times \frac{2}{7}$

整数を分数に

$$3 \times \frac{2}{7} = \frac{3}{1} \times \frac{2}{7}$$

$$= \frac{3 \times 2}{1 \times 7}$$

$$= \frac{6}{7}$$

レベルの発展問題
 ↑してほしい
 に変える発想が
 には教科書とちがって

交換法則

$$3 \times \frac{2}{7} = \frac{2}{7} \times 3$$

$$= \frac{2 \times 3}{7}$$

$$= \frac{6}{7}$$

書にはないが、
 利して扱ってほしい
 のときに交換法則が
 第11時の内容なので、
 ら成り立ちがわかる
 ためおく。

② $\frac{12}{3} \times \frac{5}{10} = \frac{5}{3} \times \frac{3}{10}$

$$= \frac{5 \times 3}{3 \times 10}$$

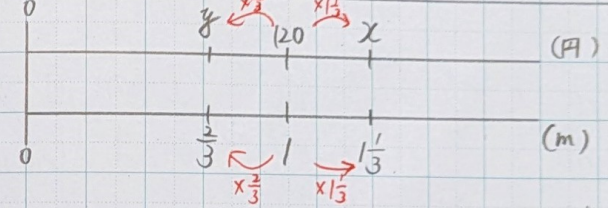
$$= \frac{1}{2}$$

仮分数、
 帯分数への
 変換

$\frac{12}{3} = \frac{5}{3}$

③ かけられる数が整数の計算や、
 帯分数のある計算では、仮分数
 に変えてから計算します。

④ $1m$ の値段が120円のロープがあ
 ります。このロープ $\frac{1}{3}m$, $\frac{2}{3}m$
 の代金はそれぞれ何円ですか。



$\frac{1}{3}m$ と $\frac{2}{3}m$
 長さを3等分した

$$x = 120 \times \frac{1}{3} = \frac{120}{1} \times \frac{1}{3} = 40$$

$$y = 120 \times \frac{2}{3} = \frac{120}{1} \times \frac{2}{3} = 80$$

A, $\frac{1}{3}m$ のとき40円 A, $\frac{2}{3}m$ のとき80円

ロープが1mの
 120円より高く
 1mより短いと
 120円より安く
 確認する

⑤ 分数のかけ算でも、かける数が
 より小さいとき、
 「積 < かけられる数」となる。

→ 文字にわか
 = 直線グラフで視
 理解できる
 → 「和差積商」

⑥ □にあてはまる不等号を書きましよう。

① $5 \times \frac{3}{5} \square 5$ ② $\frac{3}{4} \times \frac{2}{3} \square \frac{3}{4}$

③ $\frac{1}{2} \times \frac{1}{5} \square \frac{1}{2}$

→ 計算せずに
 かける数が1より
 不等号を考慮する

⑦